



## MULTIPLEX by Tom Dixon featuring Yesterday, Today and Tomorrow

TOM DIXONによるエキシビジョン MULTIPLEX (マルチプレックス) がマンゾーニ劇場に登場  
[@tomdixonstudio](#) [#muitiplex2017](#)

Tom Dixon | トム・ディクソンは、2017年のミラノサローネ期間中、文化、エンターテインメントなど、商業の中心地、マンゾーニ通りに面したアイコニックなシネマ・コンプレックス「Teatro Manzoni | テアトロ・マンゾーニ」および「Galleria Manzoni | ガレリア・マンゾーニ」にて、50年代のイタリアン・グラマーをにインスピレーションを得た展覧会「MULTIPLEX | マルチプレックス」を開催いたします。

Tom Dixonは、これまでも「MULTIPLEX」のタイトルのもと、先鋭的でエッジのきいた、さまざまなアーティストやクリエイターとコラボレーションを行い作品を発表してきました。今回は、Yesterday (過去)、Today (現在)、Tomorrow (未来) とテーマを設け、新しい発想やクラシカルなデザインとともに革新的な技術によって制作された作品を展示いたします。

会場内には、新作照明を中心に、世界的なインテリアメーカー、IKEA | イケア とのコラボレーション商品、Tom Dixon が初めて挑戦するファブリック・コレクションなど、豊富なコンテンツをご用意しております。

840席を要する巨大な映画館「Teatro Manzoni」と、歴史的なショッピング・アーケード「Galleria Manzoni」に並ぶ小さなブティックを舞台に、Tom Dixonのクリエイティビティやデザインをテーマにした映像もお楽しみいただくことができます。

また、Jonny Walkerとタイアップした、Jonny Walker Barにて、みなさまをお迎えます。穏やかで心地のよい空間でおくつろぎください。

### 開催概要

Title : MULTIPLEX by Tom Dixon featuring Yesterday, Today and Tomorrow

Venue : Teatro Manzoni

Address : Via Manzoni, 42, 20121, Milano, Italy

Period : 4月4日(火)~8日(土) 11:00~20:00

4月9日(日) 11:00~16:00

Press Preview : 4月4日(火) 9:30~11:00

Press Previewは、Invitation Onlyです。ご希望の方は事前にHOW INC.までご連絡ください。

Talk Show : 4月5日(水) 4月6日(木) 両日ともに9:00 ~ 11:00

Talk by Tom - Tom Dixon氏によるトークショーにご出席をご希望の方は、下記URLからご登録ください。

<http://us2.campaign-archive1.com/?u=25eaf19bdb032d39fb858b0ad&id=66b336f2f2&e=>

Instagram : [@tomdixonstudio](#) [#muitiplex2017](#)

---

本件に関するお問合せ先

TOM DIXON Japan PR OFFICE/HOW INC.

E-MAIL : [tomdixon@how-pr.co.jp](mailto:tomdixon@how-pr.co.jp) TEL : 03-5414-6405 FAX : 03-5414-6406

東京都港区南青山2-22-14 フォンテ青山401

## MULTIPLEX by Tom Dixon featuring Yesterday, Today and Tomorrow

今回の展示では、3つのテーマで作品を展示します。

### 1. Yesterdayのテーマのもと、過去の名作群 ' The Veteran ' を展示

本作は、Tom Dixonがロンドンで経営していた金属加工場を兼ねた店舗で産声を上げ、その後約20年間イタリア製の商品としてライセンス生産されていました。世界でも広く知られているこれらの作品が遂に生みの親、トム・ディクソンのもとに帰ってきます。一連の作品の再展開に際し、設計や配色を見直すことで、Yesterday（過去）に作られた商品が、Today（現在）でも通用するポップアートのシルエットを作り出し、それがTomorrow（未来）のコレクター・アイテムとなりえる事をご覧ください。

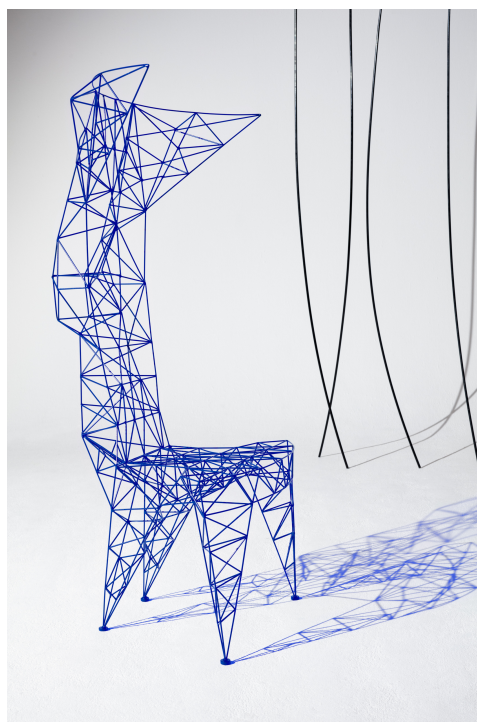
#### The Veteran | ベテラン コレクション

##### S Chair | エス・チェア

ジュリオ・カッペリーニに才能を見出されたTom Dixonは、イタリアの家具メーカーであるCappellini | カッペリーニから1991年に、S字の曲線を描く大胆な形状の鋼鉄の支柱を持った「Sチェア」を発表します。MoMA（ニューヨーク近代美術館）のパーマネントコレクションにも選定されています。

##### Pylon Chair | パイロン・チェア

送電線を支える鉄塔をイメージしてデザインされ、1992年にCappellini | カッペリーニより発表されました。





## MULTIPLEX by Tom Dixon featuring Yesterday, Today and Tomorrow

### 2. Todayのテーマのもと、新コレクションとポップ・アップショップを展開

歴史あるショッピング・アーケード「Galleria Manzoni」では、トム・ディクソンの新商品を中心に、世界中からセレクトした作品がこの場所に新しい息吹を吹き込みます。Euroluceが開催される年を祝福する光として『シャンデリア・ストア』を展開し、未来の照明をテーマにしたコンセプトモデルを展示いたします。

その他、Tom Dixon の新たな世界「スーパーテクスチャー」を展示する『ザ・ハーバーダッシュレイショップ』、香りの新境地に迫る『ザ・パヒューマリー』、Tom Dixon のもとに戻ってきた過去の名品をコレクターズアイテムとしてご覧いただく『ザ・アンティーク』、そしてピレリ社のバイクや、その空間に漏れたオイル、タイヤ痕、チューガム等、作業場の風景を再現した『ザ・ラバーショップ』等、数多くのユニークなお店が並びます。

#### 新コレクション

##### カット・ペンダント

『カット』は内包された光を変幻自在に操る、近未来的で切子細工のような照明です。最新の鏡面仕上げを活用することにより、点灯した時に半透明状の万華鏡のような視覚効果が表れます。また、シェードの内側を真空蒸着技術を用いてコーティングすることにより、光が無数に反射し、眩惑的な光を放つ宝珠のような視覚効果を生みます。この作品は、Tom Dixon が常に追い続けている反射、透過という光による視覚効果における飽くなき探求心から生まれた最新作です。ペンダントとブラケットの2タイプにそれぞれ、クロームとスモークの2色、スモールとロングの2サイズをご用意しております。

##### スーパーテクスチャー

これまできらきらとしたメタリックでハードな作品が多かったTom Dixon が、新たな分野となるテキスタイルを発表します。繊細な風合いを中心に、テキスタイルを『触れる』という感覚の実験場として、また色彩のキャンバスと捉え、ソフト、デコ、ブークレ、斑紋、チェック、ラインの6つの要素で構成しました。世界中から選りすぐられた妥協のない素材が、今シーズンのメタリックな照明、大理石やガラスのアクセサリを繊細でソフトに包み込みます。

##### メルト・サーフェイス

押しつぶし、捻り、物体を捏ねくりまわした塊のような『メルト』の風変わりな光の造形が、ブラケット照明として新たに登場します。最新の真空蒸着技術により、メルト特有の視覚効果をどのような形状にも用いることができ、その設置場所もお風呂場からボールルームなど、屋内、屋外、場所を選ばずお使いいただくことができます。また、ソフトな光を放つ新しい電球の効果により、その用途は無限に広がります。



## MULTIPLEX by Tom Dixon featuring Yesterday, Today and Tomorrow

### 3. TOMORROW (未来) — TOM DIXON x IKEA 『DELAKTIG』

IKEA (イケア) とのコラボレーションによって生まれた『DELAKTIG - リビング・プラットフォーム』をテーマにしたフィルム・フェスティバルを開催いたします。DELAKTIG | デラクティグ とは、家具のデザインや流通手法といったこれまでの固定観念を打破する実験的試みで、真の意味での '使い勝手' や 'モノの将来性' に対する新しい考えを探求し、その第一弾として、モジュール式のベッド型ソファを発表いたします。

また、スウェーデンでイケア社の家具の生地張りを得意としているテキスタイル・デザイン会社のBemzとパートナーシップを結び、これまでにないソファカバーのコレクションを製作して行く予定です。

今回は、DELAKTIGのカバーのオートクチュールコンセプトをMULTIPLEXのVIPラウンジにて展示予定です。

\*DELAKTIGとBemz社とのコラボレーション商品は2018年の発売を予定しております。



## 「Tom Dixon」ブランドについて

「Tom Dixon | トム・ディクソン」は、照明、ファニチャー、フレグランス、ホームアクセサリなど、約600点を展開するデザイナー、トム・ディクソンが主宰するイギリスのインテリアブランドです。2002年のブランドスタート以降、独創的なミラーを使った照明シリーズや、一点モノのアート作品にも近い斬新なプロダクトを数々発表。代表作のひとつである「sチェア」は、MoMA(ニューヨーク近代美術館)の永久コレクションにも選ばれるなど、世界中のデザイン界で高い人気を集めてきました。また、最近では、商業施設の内装や建築デザインなどのプロジェクトも世界中で進めており2014年には、ロンドンを中心にオープンしたモンドリアン・ホテルの総合デザイン監修を行い、建築デザイン業界においても高い評価を得ました。2015年7月には、「Tom Dixon」ブランドの“日本初”となるオンリーショップをオープン。ウィングバックチェアやビートライトシリーズなどの代表作はもとより、照明、チェアやホームアクセサリなど、洗練されたプロダクトを販売しています。スタイリッシュな店内もトム・ディクソン自身が空間プロデューサーに携わっており、同ブランドの世界感を存分にお楽しみいただける空間となっています。

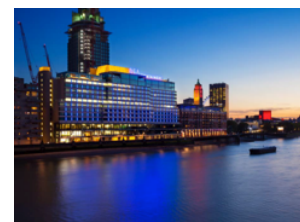
## Tom Dixon | トム・ディクソン プロフィール

1959年チュニジア生まれ。デザイナー。

2002年に「TOM DIXON Ltd」を設立。照明、ファニチャー、フレグランス、ホームアクセサリを展開するイギリスのインテリアブランド「Tom Dixon」をスタート。素材そのものの特徴を生かした独創的な創作手法は、一種異端的、且つ工業的なアプローチを体現するものであり、その表現方法は一見英国的な側面を持ちながらも、奇抜でユニークな部分を兼ね備えています。代表作のウィングバックチェア、ビートライトシリーズなど斬新なプロダクトを生み出し、独自の地位を確立してきました。

2000年にはその功績が讃えられ大英勲章を受勲。2014年には欧州のライフスタイル見本市では最大の規模を誇る、「MAISON & OBJET (メゾン・エ・オブジェ)」のデザイナー・オブ・ザ・イヤーに選ばれるなど、現在ヨーロッパで最も注目されているデザイナーの一人です。

また、空間構築の分野でもトム・ディクソンのデザイン・エッセンスをより高いレベルで表現するために、2002年「Design Research Studio | デザイン・リサーチ・スタジオ」をロンドンに設立、商業施設の内装、大規模装飾物、建築デザイン等のプロジェクトを英国及び世界中で、独創的なデザインを求めるクライアントと共にその活動領域を拡げています。2014年には、ロンドン中心にオープンしたモンドリアン・ホテルの総合デザイン監修を行い、世界で高い評価を受けています。



## Tom Dixon Shop Tokyo

Address : 東京都渋谷区渋谷2-1-13 Contact : 03-5778-3282 [info@tomdixon.jp](mailto:info@tomdixon.jp)

Opening Hours : 11:00~19:00 Close : 水曜日 夏季/年末年始



Photo Takumi Ota

本件に関するお問合せ先

TOM DIXON Japan PR OFFICE/HOW INC. 東京都港区南青山2-22-14 フォンテ青山401

E-MAIL : [tomdixon@how-pr.co.jp](mailto:tomdixon@how-pr.co.jp) TEL : 03-5414-6405 FAX : 03-5414-6406